

人間関係から見る語気助詞“啊、呢、嘛”の使用 —『新上海灘』を例として—

The Use of Sentence-Final Particles : “a”, “ne”, “ma” in *Xin-Shanghaiitan*

宮本大輔*

Daisuke MIYAMOTO

1. はじめに

本稿は現代中国語における語気助詞の使用に関するものである。

語気助詞は、文末助詞 (sentence-final particles) とも呼ばれ、通常は文末に置くことにより、単独で、或いはイントネーションや他の品詞といっしょになってさまざまな語気 (話し手の表現意図や情意を示す語調) を表すことができる (劉1983 (相原監訳1988, 325頁))。代表的なものとしては、“了”¹⁾、吗、吧、呢、啊”などをあげることができる。“而已、罢了、着呢”のように二音節のものや、“了吗、呢嘛”のように2つの語気助詞を組み合わせたものもあるが、本稿では単音節のものに焦点をあてる。

本稿で取り上げる現代中国語の語気助詞には、文法的な機能を果たすものと、話し手の態度や気持ちを表すものの2つがある (興水1985、興水・島田2009)。これまでに行われてきた語気助詞に関する研究では、語気助詞が持つ文法的な機能や語彙的な意味に関するものがその多くを占める。言語を研究する上で、言語を構成する各要素について、その機能や意味を知るということは、非常に重要なことであり、多くの先行研究が多大な成果を残したと言える。

だが、現実の世界において、言葉が発せられるとき、多くの場合は聞き手がおり、話し手は聞き手との関係を測り、言葉を調節する。日本語であれば、話し手は聞き手との関係により、聞き手の年齢や社会的地位が自分より上であれば敬語、聞き手の年齢

や社会的地位が自分と同じか、自分より下であれば普段の言葉遣いのように使い分ける。また、聞き手との心理的距離によっても、丁寧語と所謂、ため口を使い分ける。

では、中国語ではどうだろうか。現代中国語では敬語があまり使われないといわれる (興水1977)。確かに、現代中国語において、近代に見られた体系的な敬辞表現はほとんど姿消した (彭1997, 85頁)。しかし、中国語ネイティブは、聞き手の属性を全く気にせず、誰とでも同じスタイルで発話しているわけではない。話し手と聞き手の関係によって、会話のスタイルを調節している。このスタイルの違いを表す要素の一つとして、筆者は語気助詞に着目した。先行研究の中にも、人称代詞と語気助詞の組み合わせを分析したもの (朱2011, 95頁) や、語気助詞の使用をポライトネスの角度から分析したものがある (徐2008)。これらの先行研究では、“啊、呢、嘛”という3つの語気助詞について、その使用は聞き手との関係、聞き手への呼称により、使用頻度が変化するという結果が報告されている。つまり、語気助詞の中には、話し手と聞き手の関係によって変化するものもあるということである。

そこで、本稿では語気助詞が自然言語で使用される際の特徴について明らかにすることを目的とし、議論を進める。ドラマの会話で使われた用例を網羅的に抽出し、どのような状況下で語気助詞が使用されているかを分析する。そうした分析を通じて、語

*環境ツーリズム学部助教

気助詞が話し手を聞き手の人間関係による影響を受けているか否かを考察したい。

2. 先行研究と本研究の位置づけ

本章では、これまでに行われてきた研究を振り返っておきたい。

第1章でも触れたように、中国語の語気助詞に関する研究は、これまでも行われてきた。特にその意味・機能についての研究はすでに数多く行われている。

呂(1999)では、主だった語気助詞について次のように述べている。

啊a: 表示解释或提醒对方, 也表示请求、催促、命令、警告等。另外, 用在问句和反问句的末尾时, 有和缓语气的作用。(釈明、注意喚起のほか、要望、催促、命令、警告などの語気も表す。疑問文や反語文の文末に用いると、語気を和らげる役割を果たす。)(呂1999, 46頁、日本語訳は筆者による。以下、同様。)

吧ba: 表示命令、请求、催促、建议等。另外, 用在问句末尾时, 有揣测的语气。还有, 用在‘好、行、可以’等后面, 表示同意。(命令や要望、催促、提言の語気を表す。疑問文の文末に用いると、推測の語気を表す。また、「好、行、可以」などの後ろに用いると、同意を表す。)(呂1999, 56-57頁)

了le: 主要肯定事态出现了变化或即将出现变化, 有成句的作用。(主に事態に変化が生じたことや変化が生じようとしていることを表す。また文を完結させる機能もある。)(呂1999, 351頁)

吗ma: 表示疑问语气。用在是非问句的末尾。也用于反问。带有质问、责备的语气; 与副词‘难道’等呼应时, 语气更为强烈。(疑問の語気を表す。諸否疑問文や反語文に用いる。詰問や譴責のニュアンスを含み、副詞「难道」と呼応させると、その語気がより強まる。)(呂1999, 375頁)

嘛ma: 表示某种语气。表示事情本应如此或理由显而易见, 也表示期望、劝阻。(何らかの語気を表す。事態がこうなるべきであることや理由が明白であることを表すほか、期待や忠告の語気も表す。)(呂1999, 375頁)

呢ne: 用在是非问句以外的问句时, 表示疑问。也有指明事实而略带夸张的作用。另外, 用在叙述句的末尾, 表示持续的状态。(許諾疑問文以外の疑問文に用いられる際は、疑問の語気を表す。また、事実を明示し、些か誇張する機能も持つ。平叙文の末尾に使用すると、状態の持続を表すこともある。)(呂1999, 412-413頁)

また、朱(1982)では、単音節の語気助詞を、以下の3種類に分類している。1類と2類は平叙文、疑問文、命令文など、文法的意味・機能を表すものであり、3類は話し手の態度や気持ちを表すものである。

1類: 表示时态(過去や進行といったアスペクトを表す)。(了、呢₁)

2類: 表示疑问或祈使(疑問や命令を表す)。(呢₂、吗、吧₁、吧₂)

3類: 表示说话人的态度或情感(話し手の態度や感情を表す)。(啊、呕、欸、嚙(嘛)²⁾、呢₃)

呂(1999)及び朱(1982)では、各語気助詞がどのような意味を持ち、どのように分類できるかという点が明らかにされている。Chao(1968)も語気助詞を列挙し、その意味と用法について、用例を上げながら説明している。また、胡(1981a,b)は、小説や相声(中国漫才)などを研究対象とし、北京語における語気助詞及び感嘆詞を体系的に示した上で、その意味を詳述している。斎(2002)は語気助詞と語気副詞のモダリティ的な機能に焦点を当て、語気助詞が持つ意味について分析している。これらの先行研究が報告した成果により、語気助詞が持つ意味や機能に関する分析はかなり進んでいる。

だが、その一方で、これらの研究では、話し手と聞き手が存在する自然言語での使用という点について、詳しい分析は為されていない。他の文献でも、実際のコミュニケーションにおける、語気助詞の使用について、話し手と聞き手の関係という角度から、全体的に分析した研究は、数が少ない。先行研究の中には、語気助詞“啊”や“吗”が上がり調子なのか、下がり調子なのかに注目し、それぞれの意味を記述することを試みたもの(大滝1979)や、語気助詞の韻律の違いによる意味の変化に関するもの(黄1998)、語気助詞の使用を発話者の性別という角度から分析した研究などもある(曹1987)。だが、黄(1998)

は会話を材料とはしているものの、その対象は韻律であったし、曹(1987)は発話者のモノローグを材料としたものであった。そのため、実際の会話の中での使用とは異なる可能性があること、話し手と聞き手の関係という角度からの分析が為されていないことが指摘できる。

そこで本稿では、一部の語気助詞の使用には、話し手と聞き手の関係が影響を及ぼすという仮説を立て、テレビドラマの中で語気助詞がどのように使われているのかを調査することにより、この仮説を検証する。研究材料を他の研究でよく見られる小説ではなくドラマとしたのは、より自然言語に近い結果が出ることを期待したためである。使用したドラマは、2008年に日本でもテレビ東京系列で放送された『新上海灘』(邦題『新上海グランド』、全42話、約1890分)である。このドラマを選択したのは、ドラマに登場する人物の人間関係が、比較的是っきりしているためである。

このドラマの語気助詞を含む文を全て抽出したところ、15の語気助詞と、語気助詞を含む文5158例が抽出された。本稿では、これらの語気助詞の使用について、話し手と聞き手の関係という角度から分析を試みた。

本稿は2つの部分によって構成される。(1)全体像と(2)人間関係により生じる語気助詞使用の変化の2つである。まず、(1)全体像では、抽出された15の語気助詞がどのような頻度で用いられているのかについて、マクロの視点から分析する。そして、(2)人間関係により生じる語気助詞使用の変化では、ドラマ『新上海灘』の主要登場人物4人の会話に焦点をあて、話し手と聞き手の関係により、朱(1982)の言う、3類に属する語気助詞の使用頻度がどのように変化するかについて考察する。なお、3類に属する語気助詞のうち、本調査で確認されたのは、“啊、呢、嘛”の3つだけだった。したがって、本稿では、“啊、呢、嘛”について詳述する。

3. 分析と考察

3.1 全体像

ドラマ『新上海灘』から語気助詞を含む文を抽出したところ、総数は5158例だった。確認された語気助詞は、“了le、啊a、吧ba、吗ma、呀ya、呢ne、哪na、嘛ma、喽lou、嘞lei、啦la、哈ha、呗bei、哟yo、哦o”の15種類である。ただし、“呀”と“哪”

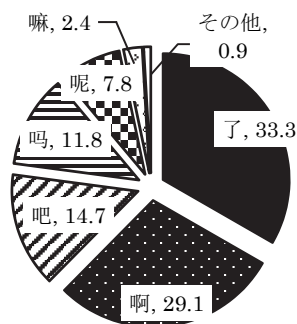
の2つは、それぞれ“啊”の前の音節が、iとnで終わったときに現れる、“啊”の異形だと考えられている³⁾。したがって、本稿では、“呀”と“哪”は“啊”と同じものとして扱うこととする。また、全体に占める割合が1%未満のもの(“喽、嘞、啦、哈、呗、哟、哦”)は、「その他」とした。

図1は、『新上海灘』で確認された語気助詞と、使用された割合を示したものである。全体的に最も多く使用されていたのは、“了”だった。“了”は新事態の発生や事柄の完成、状態の変化を表す語気助詞である⁴⁾。したがって、そういった意味を表す際には、文末に置くことが必要となる、文法的な機能を持った、語気助詞である。

使用される割合が、次に多かったのは、“啊”だった。朱(1982)は“啊”について、陳述文や疑問文、命令文など、様々な文型で、最も幅広く使用できる語気助詞だと述べている。また、徐(2008)のように、“啊”は比較的親密な関係にある相手との会話で用いるものだとしているものもある。本調査でも、“啊”は親友や恋人、親子の間などで多く用いられていることや、年長者や目上の者に対しては余り使われていないことが確認された。

使用される割合が3番目～5番目に多かったのは、“吧”(軽い命令や提案、推量など)、“吗”(疑問)、“呢”(疑問や進行)である。これらは、“了”と同じく文法的な機能を持った語気助詞である。ただし、“呢”には、疑問や進行という文法的な機能のほかに、事実を指示し、強調・誇張するという効果もある(朱1982、興水1985、呂1999、興水・島田2009)。『新上海灘』の主要登場人物同士の会話内で、どのように使用されているのかについては、次節で分析する。

図1 使用された語気助詞の割合



3.2 人間関係により生じる語気助詞使用の変化

本節では、ドラマ『新上海灘』の主要登場人物に焦点を絞り、彼らが聞き手との人間関係によって、語気助詞“啊、呢、嘛”をどのように使い分けしているかについて、詳しく見てみたい。表1~4は、ドラマ『新上海灘』の主要登場人物4人（許文強、丁力、馮程程、馮敬堯）が使用した語気助詞“啊、呢、嘛”の割合をその会話の相手ごとにまとめたものである。

本稿の特性上、上記4人の関係を簡潔に述べておく。許文強（30歳前後・男性）と丁力（30歳前後・男性）は、義兄弟の契りを結んだ親友であり、共に馮敬堯のもとで働いている。馮程程（20歳前後・女性）は、馮敬堯の娘で、許文強の恋人である。馮敬堯（60歳前後・男性）は、上海の裏社会の大半を取り仕切るマフィアのボスであり、馮程程の父で、許文強と丁力の雇主である。

3.2.1 許文強の語気助詞使用

本節では、許文強の発話における語気助詞の使用頻度を、聞き手との関係という角度から見ていく（表1）。許文強の発話において使用された語気助詞“啊、呢、嘛”の総数は、48だった。他の主要登場人物の発話において使用された語気助詞“啊、呢、嘛”の総数（丁力：107、馮程程：135、馮敬堯：124）と比較すると、かなり少ない。

表1を見ると、許文強の発話に語気助詞“啊、呢、嘛”が現れる頻度は、親友つまり丁力に対して発話する際、最も高い（52.1%）。許文強の丁力に対する発話には、“啊”（11例）、“呢”（9例）⁵⁾、“嘛”（5例）が含まれていた。

まず、“啊”について見ていきたい。以下に“啊”が使用された発話を2例示す。(1)と(2)である。(1)は自分と馮程程がいつ結婚するのかとしつこく尋ねる親友に対する軽い禁止、(2)は馮敬堯の腹心の命令を聞き、自分が守ろうとした老人を迫害した親友への怒りを表す発話であり、“啊”が様々な感情のもとで使用されていることが分かる。

- (1) 别老说我啊。你呢?你什么时候给阿姨找个媳妇儿? (俺のことよりも自分はどうなんだ?いつ結婚しておばさんを安心させてやるんだ?) (下線、太字、日本語訳は筆者による。以下同様。)
- (2) (中略) 祥叔让你干什么你就干什么,你自己有没有脑子啊? (お前は、万事祥さんの言う通りな

んだな。自分の考えはないのか?)

次に、“呢”の例を示す。(3)と(4)である。(3)は女友達の誕生日を祝いに行こうという親友の誘いに対する婉曲な断り、(4)は無謀な親友への論旨を表す発話である。

- (3) 我跟她又不是很熟,等一下我还要去戏院呢。(彼女とは特に親しいわけでもないし、まだ劇場に戻らなきゃならない。)
- (4) 阿力,我们刚开始做事,还没站稳脚跟呢。像九叔这种人没那么简单。能不招他就先别招他。(阿力、俺たちはまだ始めたばかりで、足元を固めていない。九叔のような奴は簡単にどうにかできる相手じゃない。あまり関わりたくないんだ。)

そして、“嘛”の例を示す。(5)と(6)である。

- (5) は諦めようとする相手への鼓舞、(6)は庶民のことを考えない政府に対する怒りを表す発話である。
- (5) 放屁!阿力,我们不是生死与共的兄弟嘛。要一起走,要死一起死!(何言ってんだ!阿力、俺たちは生死を共にすると誓った兄弟だ。生きるも死ぬも一緒だ!)
- (6) 跟北洋政府没什么区别嘛。(それじゃあ、北洋政府と何も変わらないじゃないか。)

一方、許文強の発話に語気助詞が現れる頻度が最も低いのは、雇主にあたる馮敬堯に対して発話する時である。許文強の馮敬堯に対する発話の中で、“啊”が使用された頻度は、許文強による“啊”の使用数の4.2%（1例）に過ぎず、“呢”、“嘛”は一切使用されていない。このことから、語気助詞“啊、呢、嘛”の使用には話す相手との上下関係が大きく影響を及ぼしていることが分かる。許文強が馮敬堯に対して、“啊”を使用した例を以下に示す。(7)である。この発話は、許文強が携わっていた仕事の目途がたち、他者のいない場所で、馮敬堯がした「娘（馮程程）を連れて遊びに行つて来たらどうか」という提案を受けて、発せられたものである。この時点では、許文強と馮敬堯の娘（馮程程）の関係は、周囲が認めるものであった。また、話題や場面もフォーマルなものではない。そのため、上司と部下という上下関係よりも、将来の義理の父親・娘婿というウ

チ・ソトの関係が重視され、よりくだけた表現になったのである。

- (7) 在这个节骨眼上，哪有那么多时间啊？（こんな大切な時に、休んでなどいられませんよ。）

次に、許文強の馮程程に対する発話に現れる語気助詞の頻度を見ていきたい。馮程程は許文強の恋人であり、許文強の雇主の娘である。表1を見れば分かるように、許文強の馮程程に対する発話には、“啊”（12例）、“呢”（8例）⁶⁾、“嘛”（2例）が含まれていた。

“啊”について見ていきたい。以下に、許文強の馮程程に対する発話内に現れた、“啊”の用例を2例示す。(8)と(9)である。(8)は相手への称賛、(9)は自分を心配する相手への慰めを表す文である。

- (8) 不会。你写得很好啊。这几天我一直都在看。（そんなことないさ。上手く書けているよ。ずっと読んでた。）
 (9) 我能有什么事啊？相信我。真的没事。我在工作呢。（何もないさ。信じてくれ。本当に何でもない。仕事をしたんだ。）

“呢”について見ていきたい。以下に、許文強の馮程程に対する発話内に現れた、“呢”の用例を2例示す。(10)と(11)である。(10)は父親がお礼をしたいという将来の恋人への謙遜、(11)は何かの時には自分が見捨てるのではないかと心配する恋人への否定を表す発話である。

- (10) 何必客气呢。这都是我们应该做的。（とんでもありません。当然のことはしたまでです。）
 (11) 怎么会呢！如果真有那么一天，我保证我一定会救你的。（まさか！もし本当にそんな日が来たら、必ず助けに行くよ。）

“嘛”について見てきたい。以下に、許文強の馮程程に対する発話内に現れた、“嘛”の用例を2例示す。(12)と(13)である。(12)は悪夢を見た恋人への慰め、(13)は反語を使った確認を表す文である。

- (12) 傻丫头。我不是好好地坐在这儿嘛。我也经常做噩梦。老人家都说梦是反的。（ばかだな。僕

はここにいるじゃないか。僕もよく悪夢を見るよ。けど、夢は現実の逆さまだと言うだろ。）

- (13) 放心吧。不会的。别哭了。我们一定不会死的。你不是说过嘛。不管什么时候，你都会相信我。（心配しないで。死にはしないさ。涙をふいて。僕たちはきっと死なない。言っていたじゃないか。どんなときでも、僕のことを信じるって。）

表1 許文強（男性・30歳前後）の使用した語気助詞の割合

語気助詞	→親友 (丁力)	→恋人/ ボスの娘 (馮程程)	→ボス (馮敬堯)	合計
啊	11 45.8%	12 50.0%	1 4.2%	24 100%
呢	9 52.9%	8 47.1%	- -	17 100%
嘛	5 71.4%	2 28.6%	- -	7 100%
全体	25 52.1%	22 45.8%	1 2.1%	48 100%

3.2.2 丁力の語気助詞使用

次に、丁力が使用する、語気助詞の割合を見てみたい(表2)。丁力の発話に語気助詞が現れる頻度の傾向は、既述した許文強のものと類似している。つまり、親友に対する発話で最も高く、雇主に対する発話で最も低いということである。

丁力の馮敬堯に対する発話内で現れた語気助詞は、“啊”（2例）、“呢”（2例）、“嘛”（1例）だった。

まず、“啊”から見ていきたい。以下に丁力の馮敬堯に対する発話内に現れた、“啊”の用例を2例示す。(14)と(15)である。(14)は馮敬堯の自分に対する忠告の受け入れ、(15)は誰かに自分の仕事が取られるのではないかとという焦燥を表す文である。

- (14) 是。冯先生，我说我的野心肯定不会超过冯先生。我不认命也不行啊。

（そうします。やはり野心の大きさは馮さんにはかありません。運命を受け入れないわけにはいきませんよ。）

- (15) 谁做啊？（誰がやるっていうんで？）

次に、“呢”と“嘛”の例を示す。(16)と(17)である。以下の例文は、共に馮敬堯に対する発話で、“呢”と“嘛”が使われているが、文末ではなく、文のポーズとして用いられている。“呢”と“嘛”は、文のポーズとして用いられた場合、発話の重点を示し、聞き手に対して注意喚起を行う役割を果たす(朱1982, 214頁)。したがって、本稿で扱っている文末の語気助詞とは、若干異なる。

- (16) 另外**呢**…我已经派人到法国的巴黎, 去给程程订购婚纱。(他には…フランスのパリに人を遣って、程程のウェディングドレスを注文しています。)
- (17) 冯先生, 我觉得这事行。码头**嘛**, 咱们自己的码头, 弟兄们顺顺手就做了, 还能多分些钱, 咱们还能多买军火。(馮さん、この取引は良いですね。港は、我々の所を使うわけですから、兄弟たちについてにやらせればすぐです。おまけに金も多くもらえるんですから、これを使って武器を多めに買えます。)

次に、許文強に対する発話における語気助詞の使用を見てみたい。丁力の許文強に対する発話に現れた語気助詞は、“啊”(33例)、“呢”(30例)⁷⁾、“嘛”(7例)だった。まず、“啊”から見ていきたい。以下に、丁力の許文強に対する発話に現れた、“啊”の用例を2例示す。(18)と(19)である。(18)は自分の行動を責める許文強に対する反論、(19)は自分たちの利益が増えることへの喜びを表す文である。

- (18) 那值得同情的人多了。我在闸北住的时候儿, 我们那儿好多穷人呢! 饭都吃不饱! 那他们谁同情**啊**? (なら、同情に値する人は大勢いるさ。オレが閘北にいた頃、周りは貧乏人ばかりだった! メシすら腹いっぱい食えない! 誰がヤツらに同情するっていうんだ?)
- (19) 强哥, 冯先生答应以后金大中的地盘儿交给咱们来管理。这以后的日子可是**越过越好啊**! (兄貴、馮さんが金大中のシマをオレたちに仕切らせてくれるってさ。これからオレたちの暮らしもどんどん良くなるぞ!)

次に、“呢”についてである。以下に丁力の許文

強に対する発話に現れた、“呢”の用例を2例示す。(20)と(21)である。(20)は新しいスーツを新調したという喜び、(21)は困難を自分たちだけの力で乗り切ろうとする許文強への説得を表す文である。

- (20) 强哥, 你看! 我新买了身西装! 五十块大洋**呢**! 好不好? (兄貴、見てくれ! 背広を新調したんだ! 50元もしたんだぜ! 良いだろう?)
- (21) 强哥, 强哥! 咱们去求冯先生。(中略) 我觉得, 给冯先生弯个腰不丢人, 很多人这么想还没机会**呢**! (兄貴! 馮さんに助けてもらおう。(中略) 馮さんに頭を下げたって恥にはならないよ。そうしたくたって、機会のないヤツらの方が多いくらいさ。)

そして、“嘛”についてである。以下に丁力の許文強に対する発話に現れた、“嘛”の用例を2例示す。(22)と(23)である。(22)は許文強の質問に対する肯定と当然のことを何故たずねるのだという訝り、(23)は自分たちの管理する港が武器や麻薬の密売に使われたことに怒る許文強への反論を表す文である。

- (22) 那可不都这样**嘛**。穷人想不受欺负, 那就得给他们上供。那你要想要不受欺负, 就自己当大哥。(そりゃそうさ。貧乏人が生きていこうと思ったら、ヤツらに袖の下を送らなきゃならねえ。それが嫌なら自分が上に立つしかないのさ。)
- (23) 我觉得…这爱什么货就什么货。只要你按月给钱, 走什么货不都一样**嘛**。(オレは…毎月払うもんさえ払ってくれりゃあ、荷が何であろうと、文句はねえ。荷がなんだろうと、密輸であることは同じじゃねえか。)

ここで、許文強と丁力の馮程程に対する語気助詞の使用状況を見ておきたい。表1、表2を見れば分かるように、全体としては、許文強の方が馮程程に対して多く語気助詞を使用している。一部の語気助詞の使用には、相手との親疎関係が影響を及ぼす(徐2008)という記述を考えると、許文強と丁力の馮程程に対する語気助詞の使用には、もう少し差が出ることが予測された。だが、実際には丁力に対するものとほとんど差が見られなかった。許文強が馮程程に対して使用した語気助詞“啊、呢、嘛”の数は、馮程程が許文強に対して使用したもの(表3参照)と

比較すると、明らかに少ない。理由は幾つか考えられるが、筆者は、ドラマの流れから、許文強は、馮程程に好意を寄せてはいるものの、馮程程の父親がマフィアのボスであるということから躊躇し、馮程程との距離感を調節するために、言語を調節していたためだと考える。

表2 丁力（男性・30歳前後）の使用した語気助詞の割合

語気助詞	→親友 (許文強)	→友人/ ボスの娘 (馮程程)	→ボス (馮敬堯)	合計
啊	33 64.7%	16 31.4%	2 3.9%	51 100%
呢	30 62.5%	16 33.3%	2 4.2%	48 100%
嘛	7 87.5%	- -	1 12.5%	8 100%
全体	70 65.4%	32 29.9%	5 4.7%	107 100%

3.2.3 馮程程の語気助詞使用

本節では、馮程程が使用した語気助詞の割合を見てみたい(表3)。彼女が使用した語気助詞の割合が最も高くなったのは、許文強と話す時だった(40.7%)。この割合を馮程程が丁力と話すときに使用する語気助詞の割合と比較すると、大きな差があることが分かる。共に父親である馮敬堯の部下である許文強と丁力に対する発話であるにも関わらず、なぜこれほどの差が生じたのだろうか。これには、馮程程が許文強と丁力に感じている、距離感が関係している。馮程程にとって許文強は恋人だが、丁力はただの友人に過ぎない。この関係の差が、馮程程が2人に対して使用する語気助詞の割合に影響を及ぼしたのである。

以下に、馮程程が恋人(許文強)に対して使用した“啊”の用例のうち2例を示す。(24)と(25)である。(24)は謙遜する恋人に対する驚き、(25)は自分を諭す許文強への反論を表す。

- (24) 像你意志那么坚定的人都会上瘾啊。(あなたの
ように意志の強い人でもダメだなんて。)
- (25) 我怎么没跟她交往过啊? 她来我家次数还少吗?
(話したことがない訳ないでしょ。家によく来

るじゃない。)

“嘛”は、父親(3例)と恋人(5例)との会話場面では、現れていない。以下に、それぞれの使用例を2例ずつ示す。(26)～(29)である。(26)と(27)は父親に対する使用例であり、(26)は新聞社で仕事をすることを父親に認めさせるための説得、(27)は手にピーナッツを乗せて、父親に勧める際の発話である。(28)と(29)は恋人に対する使用例であり、(28)は映画を見る約束をしたのにそれを破った恋人に対する文句、(29)は自分の相手をせず、別の女性とクラブにいた恋人に対する怒りを表す発話である。父親と恋人のどちらに対する使用でも、“嘛”という語気助詞が現れる比率は高くない。だが、本調査結果から見る限り、やはり、“嘛”は親密な関係にある相手に対して使用する語気助詞だということが分かる。

- (26) 别想了。我就去报馆做怎么样? 对我来讲, 也是学有所用嘛! (考えることないわ。新聞社に行くのはどう? 学んだことも生かせるし。)
- (27) 给。吃嘛。((ピーナッツを手で父親に差し出し) はい。(父親がそのまま食べようとして躊躇したのを見て) 食べて。)
- (28) 你不想和我看电影可以明说嘛。我也不是那么不讲道理的人, 非要你陪我看。可是你答应我了。答应我就得做到。(私と映画を観たくないならそう言えばいいじゃない。私だって無理にあなたを引っ張って行ったりはしないわ。だけど、約束したでしょ? 約束は守ってくれないと。)
- (29) 闹? 我在你眼里做什么事情都是闹吧? 你今天躲了我一天就是为了在这里陪她吗? 我在你眼里到底算什么? 可笑。危险? 你告诉我哪里有危险, 啊? 我看你们倒是高兴得很嘛! (邪魔ですって? あなたの眼には私が何をしても邪魔に映るのね。今日一日私から逃げていたのは、ここであの人と一緒にいるため? 私はあなたの何なの? 笑えるわね。危険ですって? どこが危険だっていうのよ? とっても楽しそうに見えるけど!)

表3 馮程程（女性・20歳前後）の使用した語気助詞の割合

語気助詞	→恋人/ 父親の部下 (許文強)	→友人/ 父親の部下 (丁力)	→父親 (馮敬堯)	合計
啊	36 38.7%	19 20.4%	39 41.9%	93 100%
呢	15 44.1%	13 38.2%	6 17.7%	34 100%
嘛	5 62.5%	-	3 37.5%	8 100%
全体	55 40.7%	32 23.7%	48 35.6%	135 100%

3.2.4 馮敬堯の語気助詞使用

最後に、馮敬堯の使用する語気助詞の割合を見てみたい(表4)。まず、彼の使用する語気助詞の割合が最も高くなったのは、娘(馮程程)と話す時(42.7%)だった。次に、馮敬堯の許文強と丁力に対する、語気助詞の使用を見てみたい。彼らは共に自身の部下だが、この2人に対する語気助詞“啊、呢、嘛”の使用には、大きな差が見られる。許文強に対する発話では51例、丁力に対する発話では20例の語気助詞を含む発話が確認できた。特に大きな差が出たのは、“啊”の使用だった。このことから分かるように、馮敬堯は許文強に対して発話する際、より多く語気助詞を使用しており、その頻度は、娘である馮程程と同程度である。これは、許文強は娘の恋人で将来の娘婿だが、丁力は部下の一人に過ぎないという、ウチ・ソトの関係が影響を及ぼしたためである。

以下に、馮敬堯が許文強と丁力に用いた“啊”の例を2例ずつ示す。(30)～(33)である。(30)と(31)は許文強に対する発話であり、(30)は許文強が自分に対して何か誤解をしているのではないかという疑問、(31)は許文強が訪ねて来たおかげで、自分は娘の手料理が食べられるという感謝を表す発話である。また、(31)は1つの文に4つの“啊”が使われていることも特徴的である。(32)と(33)は丁力に対する発話であり、(32)は自分が丁力を重用する理由を尋ねる疑問、(33)は自分と敵対する勢力に近づいた許文強について丁力に尋ねる詰問を表す発話である。

(30) 你是不是对我有些误会啊？(お前は何かわしのことを誤解しているんじゃないのか?)

- (31) 文强啊, 这是托你的福啊! 我能吃上女儿亲自做的菜哪, 啊! (娘の手料理が食べられるなんて! 文强、お前のおかげだよ!)
- (32) 阿力, 你知道我为什么重用你啊? (阿力、わしがなぜお前を可愛がっているか分かるか?)
- (33) 坐吧。(中略) 你的那个强哥…… 今天是怎么回事儿啊? (そこにかける。(中略) おまえの強兄貴は、今日は一体どうしたというのだ?)

表4 馮敬堯（男性・60代）の使用した語気助詞の割合

語気助詞	→部下/ 娘の恋人 (許文強)	→部下 (丁力)	→娘 (馮程程)	合計
啊	46 41.8%	18 16.4%	46 41.8%	110 100%
呢	2 33.3%	1 16.7%	3 50.0%	6 100%
嘛	3 37.5%	1 12.5%	4 50.0%	8 100%
全体	51 41.1%	20 16.1%	53 42.7%	124 100%

本稿による分析では、語気助詞“啊、呢、嘛”は、自分より目上の相手にはほぼ使用されなかった。即ち、語気助詞“啊、呢、嘛”の使用は、相手への敬意を表さないか、低下させるということである。ただし、自分よりも目上の相手であったとしても、自分と非常に密接な関係にある者(親族など)と話す場合は、異なる傾向が示された。また、たとえ自分より目下の者に対する発話であっても、相手との距離感によって、語気助詞の使用が変動する現象も確認することができた。語気助詞“啊、呢、嘛”は、ポジティブ・ポライトネスに属するものであり、相手との距離を縮める役割を果たすと考えられる。

筆者の考えを裏付ける傍証として、次の現象をあげることができる。具体的には、『新上海灘』第39話から第42話における、許文強の主要登場人物に対する発話には、語気助詞“啊、呢、嘛”が現れなくなるということだ。これは物語の流れと大きく関係するため、簡単に説明しておく。許文強は、日本人マフィアとアヘンの取引をする馮敬堯を裏切り、死

を偽装し広州へ逃亡する。その後、許文強が生きていることを知った馮敬堯が広州に刺客を放ち、許文強の妻子を殺害する。許文強は上海に戻り、馮敬堯に復讐するために策を弄する。その過程の中で、許文強は親友である丁力や元恋人の馮程程と会話をするのだが、その会話において、語気助詞“啊、呢、嘛”は一切使用されなかった。加えて、丁力や馮程程に対する呼称も他人行儀なものへと変化していることが確認できた⁸⁾。

4. おわりに

ここまで、ドラマ『新上海灘』から抽出した5158例の文を対象として、語気助詞の使用傾向を分析してきた。その結果、中国人母語話者は、一部の語気助詞を聞き手との間に存在する上下関係やウチ・ソトの関係により使い分けしていることが分かった。また、語気助詞“啊、呢、嘛”を使用するか否かが、聞き手との距離感の調節や、聞き手への敬意を表す会話スタイルの一つとして使われていることを示していた。今後は、小説や自然言語、ネイティブを対象とした質問紙調査等、調査対象を拡大しながら、本稿で得られた結果を実証していきたい。

最後に、本調査では自然言語になるべく近い形の会話を量的に分析するため、テレビドラマを材料とした。テレビドラマの特性上、脚本家の言語意識が、登場人物の語気助詞の使用に影響を及ぼしている可能性を否定することはできない。この点については、今後の課題としたい。

付記

本稿は、日本中国語学会第62回全国大会で発表した内容を加筆修正したものである。この場を借りて、発表の場でご意見を賜った先生方にお礼申し上げる。

注

- 1) 嚶me: 跟“嘛”的用法相同(用法は“嘛”と同じ)。(中国社会科学院語言研究所詞典編集室 2012, 879頁。日本語訳は筆者による。)
- 2) “了”には、了₁、了₂、了₁₊₂の3種類があると言われている。通常、了₁はアスペクト助詞で動詞の直後におかれ、了₂は語気助詞で文末におかれる。了₁₊₂は、文末に現れるが、動詞の直後にあるもの

を指し、了₁と了₂の両方の意味を持つとされる。(呂叔湘1999, 351-359頁) 本稿では、了₁と了₁₊₂の2つは分析の対象外とした。

- 3) 文または節の末尾に用いる場合、前の子音或は母音と連読させ、異なる音声形式、書き方になる。主に2種類で、“呀”は母音a, e, i, o, üの後に置かれ、“啊”はその他の場合に用いられる。だが、uやaoの後に“哇”を置く者、nの後に“哪”を置く者もいる。(呂叔湘1999, 46頁、日本語訳は筆者による)
- 4) 朱(1982)、丸尾(2010, 105頁)、興水・島田(2009, 375頁)等。
- 5) ただし、“呢”が現れた用例9例のうち、6例が疑問、1例が進行を表すものだった。両者とも文法的機能を有するものであるため、本稿では分析の対象外とする。
- 6) ただし、“呢”が現れた用例8例のうち、1例が疑問、2例が進行を表すものだった。両者とも文法的機能を有するものであるため、本稿では分析の対象外とする。
- 7) ただし、“呢”が現れた30の用例のうち、疑問を表すものが5例、進行を表すものが2例あり、文中に現れるポーズとして使われているものが5例あった。これらは共に文法的機能を有するものであるため、本稿では分析の対象外とする。また、2音節の語気助詞“着呢”が2例あったが、これも対象外とする。
- 8) 丁力は“阿力”と呼んでいたのを“丁先生(丁さん)”、馮程程は“程程”と呼んでいたのを“馮小姐(馮お嬢さん)”と呼ぶなど、呼称に変化が見られた。以下に例を引用する。“馮小姐, 那我先走了。”また、丁力が自分に“強哥(兄貴)”と呼びかけるのを制し、呼称を“許先生(許さん)”に変えさせている。この部分の会話を以下に引用する。
丁: 強哥……(兄貴…)
許: 丁先生! 请你以后叫我许先生。这样对你我都好。(丁さん! 今後は私のことを「許さん」と呼んでいただけますでしょうか。その方がお互いのためですから。)
丁: 強哥……(兄貴…)
許: 丁先生!(丁さん!)
丁: 许先生……我请你回答我的问题。你为什么回到上海?(許さん…答えていただきたい。)

なぜ上海に戻ったんです?)

引用文献

(日本語文献)

- 黄善「中国語の語気助詞「吗・嘛」と韻律」『千葉大学ユーラシア言語文化論集』1、1998年、39-49頁
- 興水優「中国語における敬語」大野晋・柴田武編『岩波講座日本語4敬語』岩波書店、1979年、271-300頁
- 興水優『中国語の語法の話—中国語文法概論』光生館、1985年
- 興水優・島田亜美『中国語わかる文法』大修館書店、2009年
- 大滝幸子「中国語語気詞の意味記述(その1)」『中国語学』226、1979年、59-70頁
- 彭国躍「中国語敬辞体系の衰退プロセス—言語と社会の通時的共振性—」『計量国語学』第21巻第3号、85-100頁

(中国語文献)

- 曹志贊「語気詞運用的性別差異」『語文研究』第3期、1987、43-45頁
- 胡明揚「北京話の語気助詞和嘆詞(上)」『中国語文』第5期、1981年a、374-350頁
- 胡明揚「北京話の語気助詞和嘆詞(下)」『中国語文』第6期、1981年b、416-423頁
- 劉月華・潘文娉・胡韞『实用現代漢語語法(増訂本)』、商務印書館、1983年(相原茂監訳『現代中国語文法総覧(上)』くろしお出版、1988年)
- 呂叔湘『現代漢語詞典八百詞(増訂版)』商務印書館、1999年
- 斎滬揚『語気詞与語気系統』安徽教育出版社、2002
- 徐晶凝『現代漢語話語情態研究』崑崙出版社、2008
- 朱德熙『語法講義』商務印書館、1982
- 朱敏『漢語人称与語気選択性研究』世界図書出版公司、2011年
- 中国社会科学院語言研究所詞典編集室『現代漢語詞典第6版』商務印書館、2012年

(欧文文献)

- Chao, YuanRen. A Grammar of Spoken Chinese. Univer sity of California Press, 1968.